



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2022.7.5 No.65

「現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた甲府統括センターの設置に向けて」の提案がされました。

過日、会社より、現在の「甲府営業統括センター」と「甲府運輸区」の2つの職場を統合するという提案が出されました。

(実施時期は 2023 年春に予定されているダイヤ改正)

「(組合) 営業統括センターが発足してから3か月経過しており、職場実態として営業統括センターの業務、兼務がうまくいっているわけではない」ということに対して、

「(会社) 月数回イベントや委員会などで業務は融合できている。統括センターの設置によってスムーズにいくかもしれない」と回答しています。

この他に会社からは、「駅社員は乗務労働は試験・資格が必要なのでできないが、乗務員がホーム業務、案内業務を行うイメージがある」「乗務行路の一部、その他時間で業務を行うこともあるが検討中。日勤を丸々駅で業務することも現在検討中であり、行路ができないと具体的に決まらない」「超勤の管理を運輸区の当直が管理するか駅の副長が管理するか未確定」「現在出ている甲府営業統括センターと大月営業統括センターへの兼務発令が出ていることについては検討中」と「検討中」や「未確定」の回答が相次いでおり、具体的に何も決まっていない状態です。

職場で働く全ての仲間の皆さん！

営業統括センターが発足された後、業務の融合によって様々な問題が出てきています。慣れない他駅での勤務で見習いから一本にする時の見極めを誰が判断するのか？運輸区と駅で合同の除草作業で乗務員は抑止完了しなければ線路内に入れないのに駅では見張り員がいれば、線路内に入って作業ができるというルールの矛盾さも起きています。「甲府統括センター」発足後、会社が言う「もっとスムーズにいくかもしれない」ということは実現するのでしょうか？



一人ひとりが現状の問題を考えて、より良い施策にするためにはどうすれば良いか？ともに議論しよう！

